

FRIDAYS FOR FUTURE

気候変動と静かな暴力



Fridays for Future



気候変動に対する行動の欠如に
抗議する若者による社会運動
政策担当者に道徳的な圧力をかけ
科学に基づいた政策を作することを求める
また**気候正義**に基づいた対策を求めている

気候変動の状況

2025年までに大規模削減開始を始める必要がある

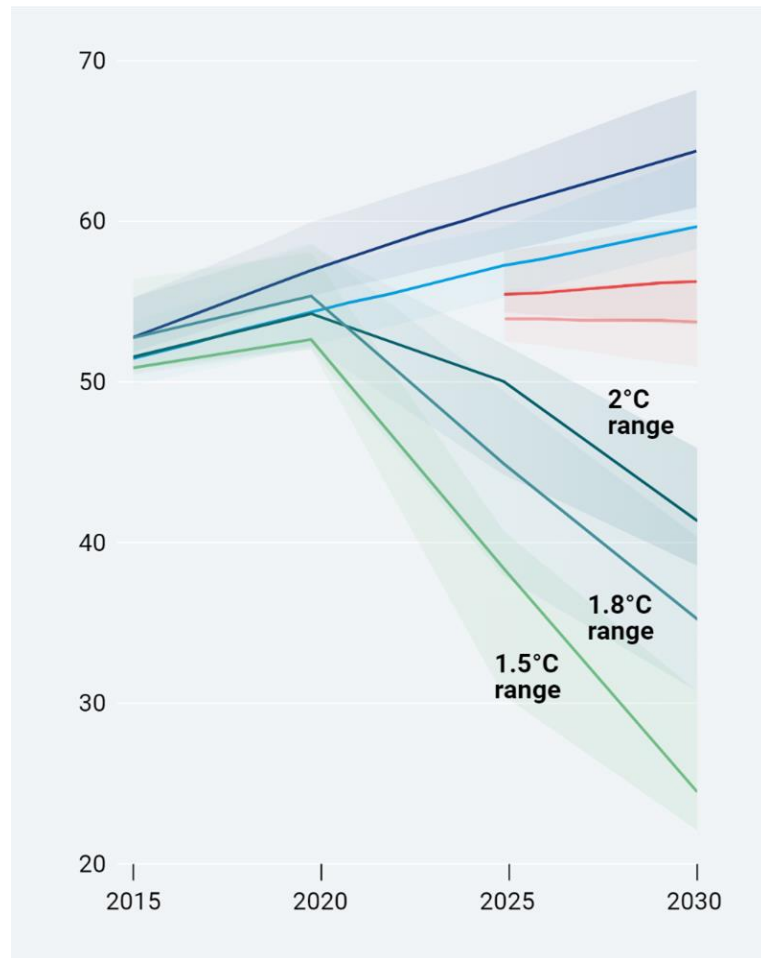
7.6%

排出量削減/年



早急な対策をしなければ、より急激な削減は難しくなる。

今のままでは2030年までにCO2排出が増加し続け、**56Gt**に達する
(1.5°C目標達成のためには25Gt)



Source : Emissions Gap Report 2019 Global progress report on climate action (UNEP, 2020)

気候正義ってなんだ

気候変動の影響や、負担、利益を公平・公正に共有し、現在の**不平等**を是正することで弱者の権利を保護するという人権的な視点を気候正義（Climate Justice）という。

途上国、将来世代など弱い立場の人が最も影響を受ける



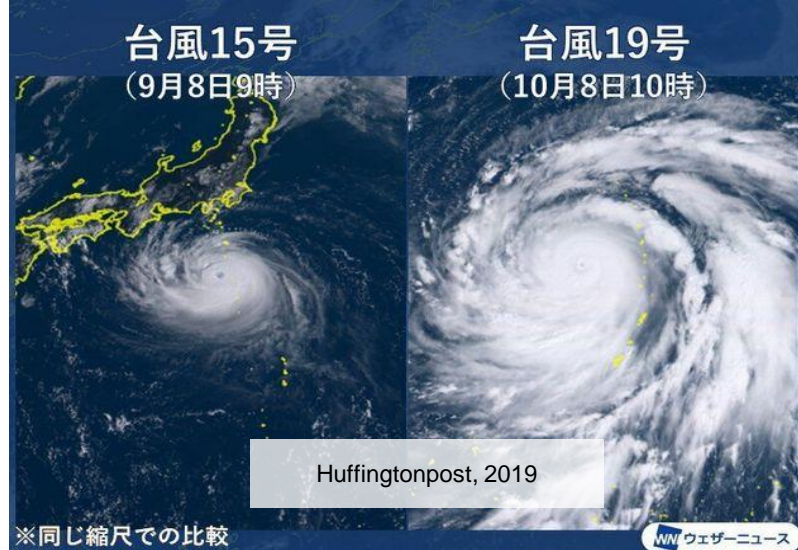
すべての人の暮らしや生態系の尊さを重視した取り組みで温暖化を解決すべき



「数十年に1度」の災害が当たり前に
2019年台風19号
死者：104人
家屋：33000戸以上の被害
被害損失：15号と合わせて世界最高
1兆6500億円（毎日新聞,2020）

ティッピングポイントへの到達

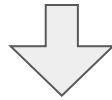
- 南極やグリーンランドの氷床融解
- 南極の棚氷の融解
- アマゾン熱帯雨林など森林火災



気候危機と不平等

Climate change is transforming where and how we live and presents growing challenges to human health and quality of life, the economy, and the natural systems that support us. Risks posed by climate variability and change vary by region and sector and by the vulnerability of people experiencing impacts. Social, economic, and geographic factors shape the exposure of people and communities to climate-related impacts and their capacity to respond.

(FOURTH NATIONAL CLIMATE ASSESSMENT CHAPTER 1: OVERVIEWより抜粋)



気候変動は、**私たちがどこでどのように生活しているかを大きく変え、人間の健康や生活の質、経済、そして私たちを支える自然のシステムに肥大化しつつある困難をもたらしています。**気候の変動性と変化によってもたらされるリスクは、**地域やセクター、影響を受ける人々の脆弱性によって異なります。****社会的、経済的、地理的要因は、人々やコミュニティが気候変動関連の影響と、それに対応する能力を決定します。**

DeepLで翻訳し、必要箇所を修正。編集で一部を太字に変更。

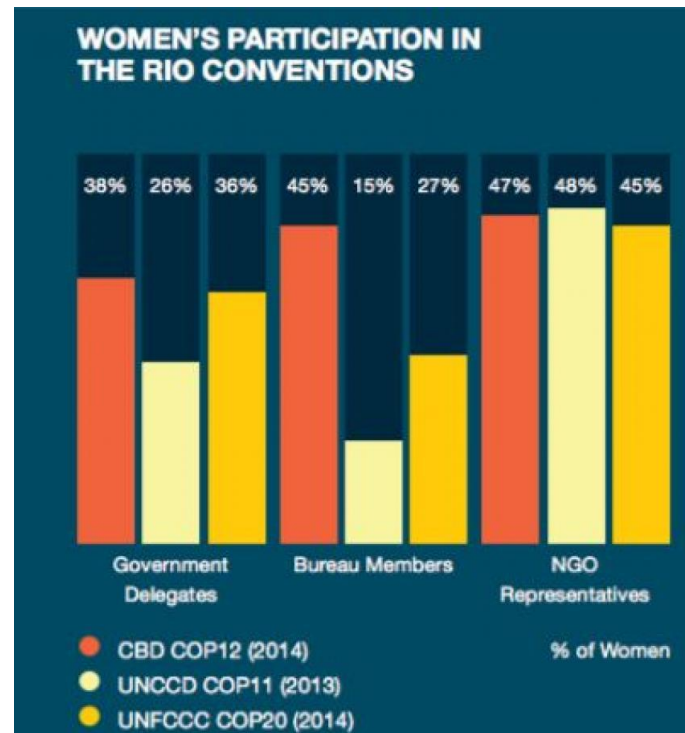


ジェンダー間

干ばつや洪水は食料生産などを行う貧困層に大きな被害を与えるが、その貧困層のうち、約70%は女性である。(1)

アフリカにおいて、女性の非識字率は55%で、男性の41%に比べ、有意に高い。(2) これは意志決定や避難においてのディスアドバンテージになる。また、泳ぎ方を教わっていないこともあり、避難が困難である。

生活に必要な資源（水、薪、燃料など）を集めるのは女性であるため、自然環境が悪化すれば、それも困難になる。また、資源が減れば、その分立場の弱い女性にしわ寄せが行く。



Source : IUCN

経済的貧富間

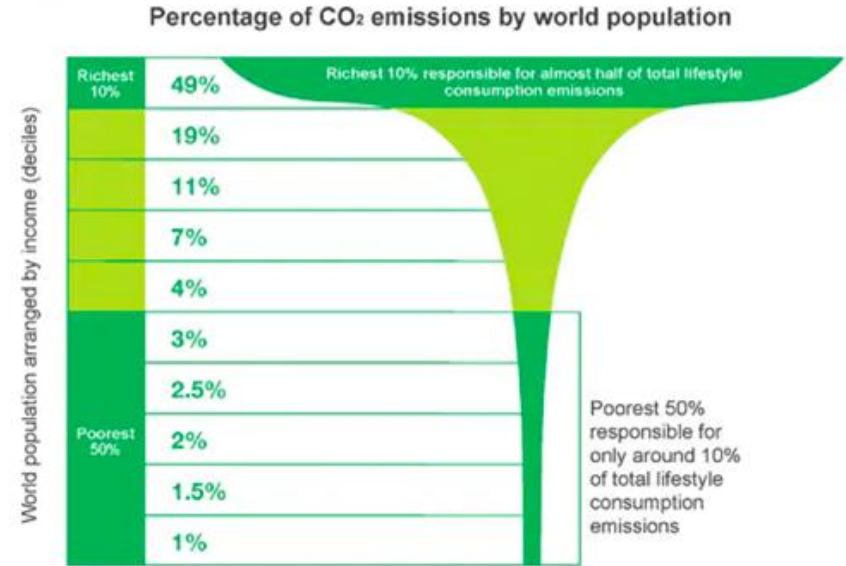
所得の高い10%の人々が、世界のCO2排出量の約50%を占める。（右図）



日々の生活が困難な貧困層は災害対策をできるだけ資金を持っていない。

熱波や豪雨が日常になれば、エアコンの性能や耐久性など、求められる住宅のクオリティが必然的に上がるため、生きていくために必要なコストも上がる。

ホームレスの人が避難所へ入ることを断られるケースもある。

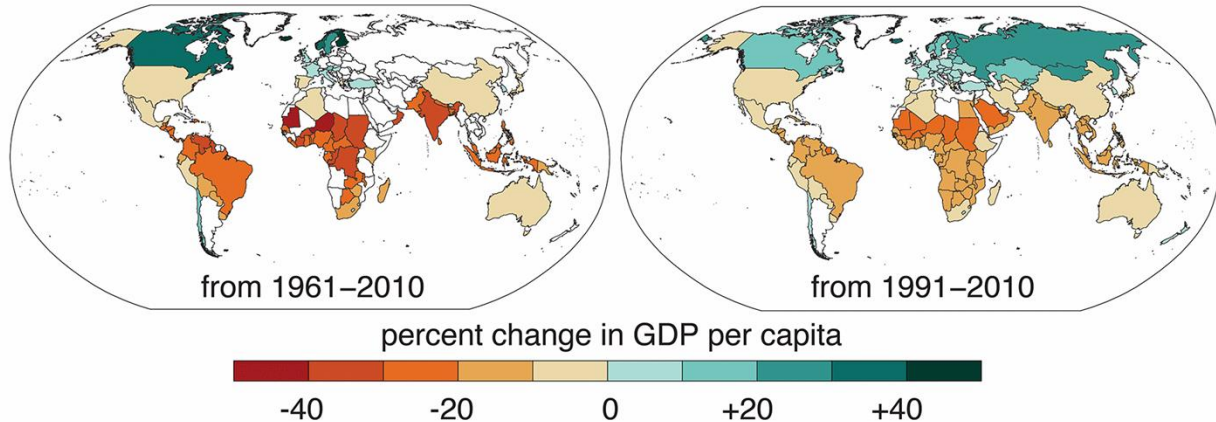


国家間

経済的な先進国と途上国の間のGDPの差は気候変動によって、なかった場合に比べて約25%拡大している。（下図）

途上国の経済は気候変動に最も大きな影響を受ける農業・漁業・観光業などに頼っており、気候変動が進めば壊滅的な影響を受ける。

Economic Impact of Historical Global Warming



Source : Noah Diffenbaugh and Marshall Burke

国家間

バングラディッシュでは1900万人の子供が気候変動を一因とする災害による危機に陥っている。(3)

気候変動に効果的な手を打たなかった場合、2050年までに、アフリカのサハラ以南、南アジア、中南米の3地域を中心に、合計で日本の総人口を上回る約1億4300万人が生活の拠点を離れて難民化する。(4)

2030年までにイエメン、シリア、エジプト、モロッコ、チュニジア、レバノンでは、約100万人の人が気候変動によって極端な飢餓にさらされようとしているが、対策と社会の発展をしっかりと行えばその数を10万人に抑えることができる。(5)



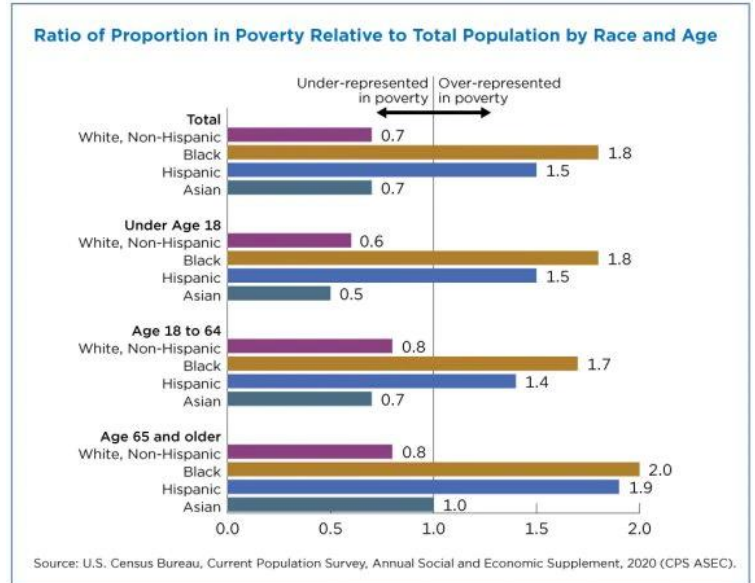
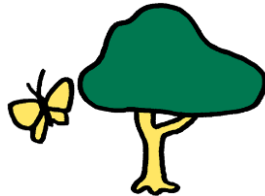
人種・民族間

原住民の人々はより自然と密接にかかわった生活をしており、その自然環境が悪化すること、変化することは生活自体を成り立たなくさせる可能性がある。

原住民の減少はその言語や文化などの豊かな視点を失うことにつながる。

歴史的に差別されてきた人種や民族はより地理的な不利益を受けやすい。

アメリカにおいて、アフリカ系やヒスパニックの方が他の人種と比べ、全ての年代で貧困率が高い。（右図）



世代間

現在の格差や不平等が気候変動の激化によってさらに大きなものとなる

将来頑張ればどうにかなる問題ではない

このまま地球環境が悪化し続ければ社会自体が続かない



今から根本的な対策を取る必要がある



参考文献

- (1) <https://s3.amazonaws.com/oxfam-us/static/oa3/files/climatechangewomen-factsheet.pdf>
- (2) <https://www.un.org/en/chronicle/article/womenin-shadow-climate-change>
- (3) <https://www.unicef.or.jp/news/2019/0057.html>
- (4) <https://openknowledge.worldbank.org/handle/10986/29461>
- (5) <https://documents1.worldbank.org/curated/en/349001468197334987/pdf/WPS7483.pdf>

気候危機 と 不平等

気候変動の問題は
不平等によって、恵まれている人から
そうでない人への静かな暴力

あらゆる格差を乗り越え、
気候正義に基づいたシステム全体の転換。

人種・民族間

国家間

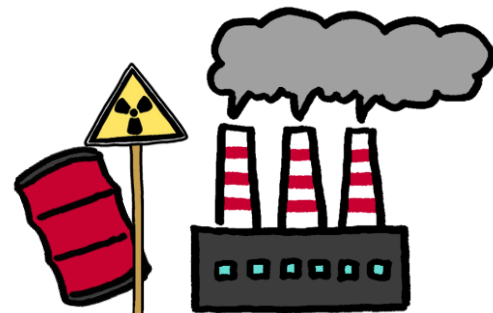
貧富間

ジェンダー間

世代間

原発の廃止も気候正義の一部

政府での会合では、原子力発電所はコストが高いか低いかという議論が頻繁に行われている。しかし、原子力発電所はそれ以前に労働者の被ばく、温排水の排出、放射性廃棄物の持続不可能性などの問題点を抱えている。これらは経済的な観点以前に考慮されるべき問題である。また、原子力を運用する体制にも数多くの問題が残されている。数々の不祥事が起きており、それらはいまだ明確に解決されていない。**そのような状況で安全性は担保されていると言うことは到底できず**、一度事故が発生したら取り返しのつかない被害が発生することは福島第一原発事故の経験から学んでいる。よって、原発は安全面や倫理的な観点から許容できるものではない。



どうやって気候変動を止めるか

